

地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業

(地方公共団体の DX 関係)

○登録者情報

中島 淳之介 (なかじま じゅんのすけ)

所在地 東京都

組織名・所属 役職 nice2have 合同会社 代表



略歴

ヴィエムウェア株式会社にて 15 年に渡り、公共事業全般（中央省庁・独立行政法人・自治体等）の技術取りまとめを行う。三層分離への移行期においては、仮想デスクトップ基盤やマイクロセグメンテーション等のセキュリティソリューション（セキュリティクラウドを含む）の提案に従事。2025 年に同社を退職し、現在は nice2have 合同会社の代表として行政機関及び関連事業者に向けた支援活動を継続している。

2020 年頃からガバメントクラウドへの考察を開始するとともに、関係する自治体及びベンダー・地場業者とのコミュニケーションを継続。2024 年から地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業のアドバイザーとして活動している。

○主な取組内容・実績

支援実績 (2025 年 9 月時点)

依頼数 50 件以上、支援自治体のべ 400 超

標準化仕様 AWS ハンズオン受講者 200 名以上

業務委託アドバイザー

- ・2025 年度 文京区 DX 推進アドバイザー
 - ・2025 年度 深川市情報システム等活用推進アドバイザー
- 等々

過去の主要プロジェクト

- ・福岡県自治体クラウド基盤構築
- ・埼玉県クラウド基盤構築
- ・横浜市プライベートクラウド構築
- ・その他、多数の自治体におけるクラウド環境構築に寄与

支援可能内容

- ・府内システム調達支援（コスト削減・ベンダロックイン回避）
- ・ガバメントクラウド移行支援（為替レート変動固定の判断、長期割引契約、FinOps 導入、運用保守仕様書の精緻化、データ連携の技術実装方法、運用体制と人材確保）
- ・システム最適化計画策定支援
- ・国地方ネットワーク（ゼロトラスト）を見据えた最適化計画策定支援
- ・デジタル目利き人材基礎研修（幹部向け・一般職向け）
- ・情報システム担当向けデジタル基礎トレーニング・ハンズオン・伴走支援
- ・AI 駆動サービス開発研修＋サービス提供

運用保守仕様書のレビュー・精緻化支援

運用保守業務仕様書における抽象的な表現（「速やかに対応」「適切に管理」等）を具体化し、契約履行の検証が可能な仕様書への改善を支援。対応時間・報告期限の明確化、監視・ログ管理要件の具体化、成果物の品質基準定義など、ベンダーとの認識齟齬を防ぎ、期待する成果を得られる仕様書作成をサポートしている。

運用最適化計画策定支援

為替レート変動固定の判断、長期割引契約の検討、FinOps 導入可否の判断、運用保守仕様書の精緻化、データ連携の技術実装方法、運用体制と人材確保など、移行後の持続可能なシステム運用に向けた包括的な検討会議への参加・助言を実施している。

運用経費高騰の要因分析、長期割引（リザーブドインスタンス・Savings Plan）の活用検討、FinOps（クラウドコスト最適化）の実践、ASPとの交渉支援など、補助金申請のためだけではなく中長期的に運用負担を軽減する実効性のある計画策定を提供している。

ガバメントクラウド研修・AWS ハンズオン

座学とハンズオンを組み合わせた2日間の研修プログラムを提供。1日目は予算・補助金の状況、単独利用方式と共同利用方式の違い、コスト最適化の重要性等を解説。2日目は実際にAWS環境を構築するハンズオンを実施し、VPC、EC2、S3、Transit Gateway、PrivateLinkなどガバメントクラウドで使用するサービスを体験。「見たことも触ったこともない」状態から「一度は見たこと触ったことがある」状態へと職員のスキルアップを図る。

AI 駆動サービス開発研修+サービス提供

生成 AI を活用したプログラミング開発の基礎から、AWS 上でのサービス公開までを実践的に体験する研修。対話型開発により、非エンジニアでも業務効率化ツールやプロトタイプを短時間で作成できるスキルを習得。自治体 DX 推進における「自分たちでツールを作れる」能力の獲得を支援している。また、その過程で作った試作品をサービスとして提供することも可能です。

支援の背景と特徴

システム標準化に伴うガバメントクラウド移行について、体系立てて提供されている情報がないと感じている職員の方々が多い現状があります。デジタル知見が不足した状態では、ベンダーからの提案内容の妥当性判断や、本来検討すべき選択肢の把握が困難となり、結果として適切な意思決定ができないケースが散見されます。

こうした課題に対し、以下の段階的な支援を提供しています。

まず、技術レベルが十分でなくとも、ガバメントクラウド移行の全体像を網羅的に理解し、何を検討すべきかを整理できるよう、教育プログラムを提供しています。

次に、クラウドをイメージだけで理解している方々に対しては、デモ・ハンズオンを通じて実際に見て触れる機会を提供します。コンテナ技術等を自治体業務と紐づけて理解することで、課題解決の基礎知識を身につけることが可能です。

これらを踏まえ、自身の自治体において今後クラウドを選定する際に、どういう場合にどのクラウドを選択するかの指針を策定し、クラウド利用方針を固めることができるよう支援しています。

○その他

情報発信

<note>

2025 年度末直前、ガバメントクラウド総合診断

https://note.com/jn_vmware/n/n46841ce3fbf5

地方自治体のためのガバメントクラウドマガジン

https://note.com/jn_vmware/m/mcab7a8bae9ce

等々



<メディア>

- ・日経クロステック：自治体システム標準化、ガバクラ移行に関する記事掲載
- ・ビジネス+IT：ガバメントクラウドに関する複数記事執筆
等々

書籍

「改訂新版 VMware の基本～仮想化／クラウドのための設計・構築・運用のポイントがわかる」（共著、技術評論社）

<https://gihyo.jp/book/2015/978-4-7741-7592-8>

ホームページ：

<https://nice2h.com>

地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業
アドバイザー取組分野 一覧

氏名: _____

【公営企業関係】

下記のうち、該当するものに○を付してください(複数回答可)		
対象事業	1 水道事業	11 船舶事業
	2 簡易水道事業	12 港湾整備事業
	3 工業用水道事業	13 市場事業
	4 軌道事業	14 と畜場事業
	5 自動車運送事業	15 観光施設事業
	6 鉄道事業	16 宅地造成事業
	7 電気事業	17 駐車場整備事業
	8 ガス事業	18 介護サービス事業
	9 病院事業	19 その他事業()
	10 下水道事業	20 第三セクター等

下記の取組分野のうち、該当するものに○を付してください(複数回答可)		
事業共通	1 地方公営企業法の適用	8 事業廃止・民営化・民間譲渡
	2 DXの取組	9 料金改定
	3 GXの取組	10 PPP/PFI、包括的民間委託、指定管理者制度
	4 経営戦略の策定・改定	11 施設の統合・廃止
	5 公立病院経営強化プランの改定・経営強化の取組	12 経営診断・コスト分析
	6 上下水道の広域化	13 維持管理コストの効率化
	7 第三セクター等の経営健全化	14 その他()
取組分野	水道事業・工業用水道事業	
	1 水道料金関係(滞納整理等)	1 地域医療提供体制の機能分化・連携強化
	2 アセットマネジメント	2 医師等の確保・働き方改革
	3 施設の統廃合・共同利用(広域連携含む)	3 経営形態の見直し
	4 システム導入・更新(システム共同利用による広域連携含む)	4 経費削減等の病院経営の効率化
	軌道事業・自動車運送事業・鉄道事業・船舶事業	
	1 運転手・技術職員の確保対策	5 診療報酬の最適化
	2 運転手の労務管理	6 病院建替の基本構想・建替計画の策定
	3 車両(船舶)整備の低コスト化	7 病院建設費のコスト削減
	電気事業・ガス事業	
	1 技術職員の確保対策	8 病床機能転換及び診療体制の一体化の見直し(公立病院医療提供体制確保支援事業の基礎的支援)
	2 原材料調達の低コスト化	9 下水道事業
	1 施設建設コスト(老朽化対策含む)の効率化	1 施設建設コスト(老朽化対策含む)の効率化
	2 システム導入・更新(システム共同利用による広域連携含む)	2 システム導入・更新(システム共同利用による広域連携含む)

【地方公会計の整備・活用関係】

下記の取組分野のうち、該当するものに○を付してください(複数回答可)		
取組分野	1 固定資産台帳の整備・早期更新	
	2 財務書類の整備・早期作成	
	3 施設別・事業別等の財務書類の作成・活用	
	4 公共施設マネジメントへの活用	
	5 公会計情報(指標等)を用いた財政分析	
	6 その他()	

【公共施設等総合管理計画の見直し・実行関係】

下記の取組分野のうち、該当するものに○を付してください(複数回答可)		
取組分野	1 中長期的な維持管理・更新等の経費の見込み等の推計	
	2 公共施設等に係る方針の策定・取組(更新・長寿命化、統合・廃止等)の支援	
	3 全局的な体制の構築やPDCAサイクルの確立(数値目標の設定を含む)	
	4 総合管理計画の予算編成等への活用	
	5 その他()	

【地方公共団体のDX関係】

下記の取組分野のうち、該当するものに○を付してください(複数回答可)		
取組分野	1 DXの機運醸成	
	2 情報システムの標準化・共通化	
	3 マイナンバーカードの利活用の推進	
	4 行政手続のオンライン化	
	5 データ利活用・EBPM	
	6 BPR・業務改革	
	7 自治体職員のデジタル人材への育成	
	8 外部デジタル人材の確保	
	9 セキュリティ対策	
	10 消防防災DX	
	11 その他()	

【地方公共団体のGX関係】

下記の取組分野のうち、該当するものに○を付してください(複数回答可)		
取組分野	1 屋根置きなど自家消費型の太陽光発電	
	2 地域共生・地域資源型再エネの立地	
	3 公共施設など業務ビル等における徹底した省エネと再エネ電気調達と更新や改修時のZEB化誘導	
	4 住宅・建築物の省エネ性能等の向上	
	5 ゼロカーボン・ドライブ	
	6 資源循環の高度化を通じた循環経済への移行	
	7 コンパクト・プラス・ネットワーク等による脱炭素型まちづくり	
	8 食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立	
	9 その他()	

【地方公共団体間の広域連携】

下記の取組分野のうち、該当するものに○を付してください(複数回答可)		
取組分野	1 公共施設の集約化等	
	2 専門人材の確保	
	3 事務の共同実施	

【地方税務行政のDX等】

下記の取組分野のうち、該当するものに○を付してください(複数回答可)		
分取野組	1 課税事務の効率化	
	2 徴収事務の効率化	

【地方創生の取組】

下記の取組分野のうち、最も当てはまるもの1つに○を付してください		
分取野組	1 持続可能な生活環境の創生	
	2 地域経済の高附加值化	
	3 若者・女性から選ばれる地域づくり	
	4 地域への人の流れの創出	